年間授業計画 新様式例

都立拝島高等学校 令和8年度　教科 情報 科目 情報処理基礎

教　科：情報　　科　目：情報処理基礎　　単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（1組～7組：梶原　修）

使用教科書：（ 配布資料 ）

教科　情報　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】AIを活用した情報技術の深化、総合化を図る。

【思考力、判断力、表現力等】事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。

【学びに向かう力、人間性等】情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

科目　情報処理基礎　の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・AIを活用したコンテンツの作成 ・コードの記述によるプログラミング ・処理の自動化を行えるようになる。	・都立AIの活用 ・文書に挿入する3Dオブジェクトの作成 ・Pythonによるコードの作成 ・AWS Cloud9環境でのウェブサイト作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 制作物の取り組み状況	○	○	○	14
	・各自の進路から求められる情報処理技術について調べ、各自の今年度の目標を定める。 ・画像認識による処理の自動化 ・生成AIを活用したツールの作成 ・知的財産権および個人情報について対処する。	・WebAPIを活用した処理を行う ・都立AIを活用してウェブアプリを作成する。 ・実例に基づいた、知的財産および個人情報の確認を行う。	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 制作物の取り組み状況	○	○	○	16
2学期	・Microsoft Power Apps を活用したアプリ作成 ・ウェブサイト作成 ・生成AIを活用した文書作成	・Microsoft Power Apps を活用したアプリ作成 ・AWS Cloud9でHTMLおよびCSSによるウェブページ制作 ・都立AIを活用して文書作成を行う	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 制作物の取り組み状況	○	○	○	14
	・Microsoft Power Apps を活用したアプリ作成 ・ウェブサイト作成 ・生成AIを活用したプログラミング	・Microsoft Power Apps を活用したアプリ作成 ・AWS Cloud9でHTMLおよびCSSによるウェブページ制作 ・都立AIを活用してPythonでのプログラム作成を効率化する	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 制作物の取り組み状況				16
3学期	・Microsoft Power Apps を活用したアプリ作成 ・ウェブサイト作成 ・生成AIを活用したプログラミング	・AWS Cloud9で画像認識を伴うシステムを作成する ・都立AIを活用して画像認識等の手法を習得し卒業後の進路に備える	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 制作物の取り組み状況	○	○	○	10
							合計
							70